

## 第2回 市民報告会

# 市政の現状と課題について

---

銚子市長 野平 匡邦

**1 市立病院再生に向けて**

**2 広域ごみ処理施設について**

**3 (仮称)イオン銚子  
ショッピングセンターについて**



# 1 市立病院再生に向けて

---

# (1) これまでの主な経緯 (市長就任後)

5月18日	市長就任
7月23日	「銚子市立病院再生準備機構」と委任契約締結(東京事務所:港区内(スペースは8畳))
7月28日	第1回 再生準備機構総会の開催 <b>(平成21年11月末までに計4回の総会を開催)</b>
11月10日	市立銚子高校の看護科学生等との座談会 (看護師対策)
12月1日	笠井源吾氏を銚子市非常勤特別職(参与)として採用

## (2) 笠井源吾氏の経歴等

生年月日：昭和13年3月20日生まれ(71歳)

### 経歴

現職	社会福祉法人 恩賜財団 済生会波崎診療所 顧問
経歴	昭和38年 3月 日本医科大学卒業
	昭和51年 9月 湯河原厚生年金病院 内科部長
	昭和52年 4月 下谷病院へ就職
	昭和54年 6月 国立横須賀病院 循環器科医長
	昭和58年 7月 波崎済生病院 院長
	平成17年 2月 同上廃院により院長退任 (波崎済生病院を移転新築し、神栖済生会病院へ)
	平成17年 3月 神栖済生会病院 院長
	平成20年10月 神栖済生会病院 名誉院長
	平成21年 4月 現職

# (3) 笠井源吾氏の職務内容等



市立総合病院の来年4月再開を目指す銚子市は30日、今夏発足した「再生準備機構」と連携して医師、看護師を招へいしてもらうため、神栖済生会病院名誉

銚子市が医師を採用  
非常勤参与  
病院再生の切り札に

○職務内容:市立病院再生に当たっての医師、看護師、その他職員の招へい及びこれに付随する業務等

○期 間:平成21年12月1日～  
平成22年3月31日

○勤務場所:銚子市役所・銚子市立総合病院  
銚子市立病院再生準備機構

東京事務所

出典:千葉日報  
(H21.12.1)

# (4) 銚子市立病院再生準備機構

## 再生準備機構 委員名簿

平成21年10月27日現在

氏名	現職 又は 最終職業
木多 良輔	大阪回生病院顧問
東谷 隆夫	弁護士(真和総合法律事務所)
大澤 一記	弁護士(日本橋人形町法律事務所)
小林 俊規	病院経営企画室長(長野赤十字病院)
川島 正英	地域活性化研究所 代表
波江野 康雄	自衛隊研究家
田中 肇	会社経営(日本コンテンツネットワーク(株) CEO)

※ 原田 修 委員は平成21年9月29日に退任



# (5) 再生準備機構の活動状況

## 再生準備機構の主な活動状況

(11月30日現在)

活 動 状 況	回数
1 医師確保のための取組 (医学部を持つ大学関係者との打合せ等)	9回
2 病院再生までの計画に関する取組 (関係者との打合せ等)	31回
3 市立病院の視察	4回
4 市立銚子高校を訪問 (看護師対策のため)	3回
5 地域医療についての取組 (関係者との打合せ等)	4回



# (7) 香取海匝医療圏域の現状

## ● 旭中央病院への患者集中

### 1 旭市外から旭中央病院に受診する患者の増加状況

(H12→H20増加率【%】)

	銚子市	香取地域	匝瑳地域	山武地域
入院	30.2	5.7	24.4	39.9
外来	4.9	▲16.7	2.5	9.8
救急	50.5	26.8	38.1	52.0

出处: 資料(旭中央病院)

### 2 患者数(全国の自治体病院との比較)

第2位の1.5倍

一日平均 入院 患者数	1位	大阪市立総合医療センター	964人
	2位	<b>国保旭中央病院</b>	<b>868人</b>
	3位	福井県立病院	865人
	4位	大垣市民病院	812人
	5位	豊橋市民病院	772人

一日平均 外来 患者数	1位	<b>国保旭中央病院</b>	<b>3,507人</b>
	2位	大垣市民病院	2,417人
	3位	豊橋市民病院	2,279人
	4位	大阪市立総合医療センター	2,224人
	5位	札幌市立札幌病院	2,011人

出处: 平成19年度地方公営企業年鑑

## (8) 銚子市立病院に求められる機能

- 千葉県地域医療再生計画における銚子市立病院に求められる機能

### ○ 役割

- ① 地域で必要な『**2次救急機能**』を担う病院
- ② **人間ドック、2次検診等**の機能強化

～**2次救急機能**を担うまでの第一段階の整備として～

- 基幹外来機能の強化を行う



## (9) 市立病院再生に向けて

### ●今後の検討事項

- 市立病院再生計画の作成
- 医師、看護師等の招へい

### ●市立病院再生の考え方

- 経営理念の確立  
(「情熱ある診療」と「冷静な経営」との分別)
- 市内民間病院・診療所との協力体制の構築  
(公的病院としての意義)
- 旭中央病院・千葉大との協力体制の構築  
(地域連携を強化し、安心した医療圏を構築)

# メディコポリス構想

長野県佐久病院 若月俊一先生(故人)提唱

- 意味: 保健・医療・福祉を軸にしたまちづくり
- 基本的条件:
  - ① 医療・福祉システムの整備
  - ② 教育施設の充実
  - ③ 住民の生計を確保できる産業の振興
- 具体的事例: ⇒ 農業や林業、観光など他のさまざまな産業と連携しながら展開する新たな公共事業  
⇒ NPO、行政、病院組織が連携しながら地域のニーズに応えるべく活動を展開

## 類似例

医療を守る、命を守る政策を公約、実践した「岩手県沢内村」  
深澤晟雄村長(故人)  
⇒ 次の政策として教育、産業の発展を考えていた



## 2 広域ごみ処理施設について

---

# (1) 焼却施設の現状(構成3市)

(平成21年3月現在)

	銚子市	旭市	匝瑳市ほか2町 環境衛生組合
建設年月	昭和61年9月	平成4年8月	昭和59年3月
経過年数	22年	16年	25年
処理能力	165 t/日 (82.5t×2炉)	95 t/日 (47.5t×2炉)	80 t/日 (40t×2炉)
稼動時間	24時間/日	16時間/日	16時間/日

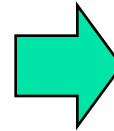
## (2) 最終処分場の現状(構成3市)

(平成21年3月現在)

	銚子市	旭市	匝瑳市ほか2町 環境衛生組合
建設年月	昭和63年8月	平成9年3月	昭和55年11月
敷地面積	53,450m <sup>2</sup>	39,000m <sup>2</sup>	14,599m <sup>2</sup>
埋立容積	266,000m <sup>3</sup>	168,400m <sup>3</sup>	116,388m <sup>3</sup>
残余量	21,908m <sup>3</sup>	41,918m <sup>3</sup>	19,317m <sup>3</sup>
残余年数	約4年	約4年	約19年

### (3) 銚子市清掃センターの補修費用状況

平成15年	1億2,100万円
平成16年	1億1,300万円
平成17年	8,500万円
平成18年	9,800万円
平成19年	7,800万円
平成20年	1億 300万円
平成21年	※2億7,000万円
<b>合計(7か年分)</b>	<b>8億7,000万円</b>



施設稼動から23年以上経過し施設が老朽化。

今後多額の補修費が必要。

※今年度は国の臨時交付金を活用し、大規模な補修を行った。

# (4) 老朽化している銚子市清掃センターの状況

ごみ搬入扉



機器運転用コンプレッサー



機器運転用コンプレッサー



予熱利用温水タンク





## (5) 広域ゴミ処理事業の経緯

平成11年	・東総地域ごみ処理広域化推進協議会でごみ処理施設の建設を計画
平成17年12月	・旭市の遊正地区を建設候補地に決定
平成19年 7月	・住民の反対により、 <b>遊正地区での建設を断念</b>
平成20年	・3市が提示した候補地の建設条件を比較検討 (焼却場6か所、最終処分場1か所)  ・検討の結果、銚子市が上位を占める。

## (6) 広域ごみ処理施設建設候補地



# (7) 焼却施設候補地別比較一覧表

候補地		総合点	総合評価			
銚子市	野尻町A地区	47点	収集運搬効率○	施工性◎	経済性◎	法的条件◎
	野尻町B地区	45点	収集運搬効率○	施工性◎	経済性◎	法的条件◎
匝瑳市	山桑地区	41点	収集運搬効率×	施工性◎	経済性△	法的条件×
	東小笹地区	39点	収集運搬効率×	施工性◎	経済性△	法的条件×
旭市	倉橋地区	33点	収集運搬効率○	施工性×	経済性△	法的条件×
	岩井地区	33点	収集運搬効率○	施工性×	経済性△	法的条件×

## (8) 最終処分場候補地

候補地	総合点	総合評価
銚子市八木地区	45点	給電◎ 排水路整備◎

※旭市・匝瑳市から、最終処分場の候補地が提示されていないため、銚子市のみ評価された。

施設拡大について、地元から反対声明がでている。

平成 21 年 3 月 4 日  
関係各位  
豊岡地区町内連合会  
広域ごみ処理施設の建設用地選定のための調査実施について

表題の件について、広報ちょうし 2 月号に掲載された「広域ごみ処理施設の建設用地選定のための調査」において、当地域（銚子市八木町）が調査対象地区となりました。

ご承知のように、当地域は銚子市内においても野菜の一大生産地域であり、その下流域には広大な水田があり、灌漑用水としての役割を担っております。

ごみ処理施設の拡大においては、防水シートの亀裂により汚染水の地下漏洩等による地域住民の不安や、農業生産物への影響などがあり、こうした懸念も払拭されていません。

地元町内会としては、上記理由によりこれ以上の施設拡大には反対の表明をしております。

このことについて、関係各機関へ反対の意思を表す書面をもって通告すると共に、今後の計画について、当地域を除外していただくよう、何卒ご配慮賜りたくお願い申し上げます。

以上

## (9) 今後のごみ処理施設建設スケジュール

- 用地選定



- 住民意見交換 → 基本同意



- 循環型地域計画の策定



- 環境アセス・用地取得



- 焼却施設建設、最終処分場建設 等



供用開始

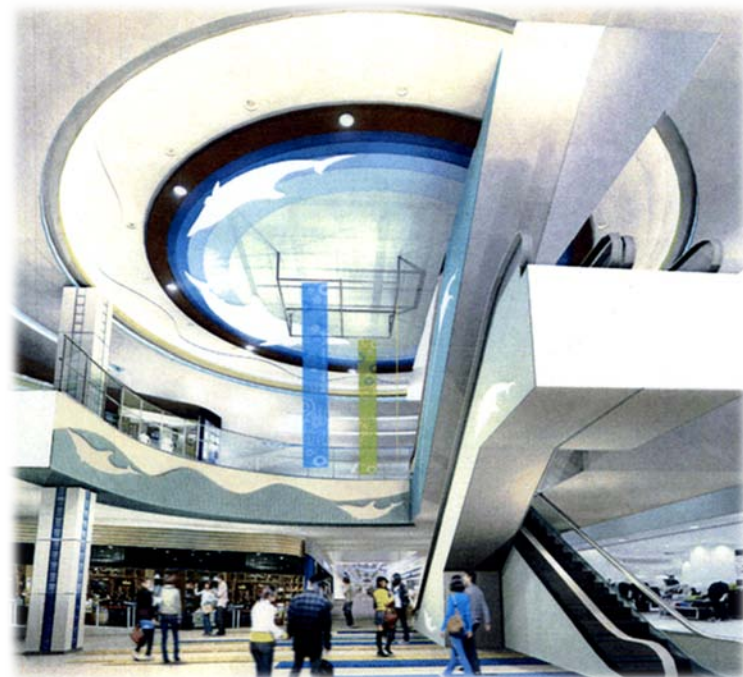


---

### 3 (仮称)イオン銚子 ショッピングセンターについて

# (1) (仮称) イオン銚子ショッピングセンター

東総地区最大級の  
モール型  
ショッピングセンターが  
いよいよ来春オープン！



## (2)「行政サービスコーナー」の設置について

市では、イオンの店舗内に「住民サービス機能」、「情報発信機能」、「多目的スペース」の3つの機能を持つ、「行政サービスコーナー」を設置。

行政サービスコーナー		
場 所	店舗2階 フードコート南側	
面 積	20.21坪(66.82m <sup>2</sup> )	
人員配置	常時2名を配置	
利用時間	午前10時から午後7時まで 土・日・祝日を含む毎日(年末年始を除く)	
機能	住民サービス	住民票、戸籍謄本、市税諸証明書等の発行
	情報発信	観光情報、地場産品、行政情報等の発信
	多目的スペース	市主催のイベント等を実施



## (3)イオン進出により期待される効果

---

### ①イオンの巨大な集客力

- ・市外に流出している購買客を市内へ呼び戻す
- ・イオンへの来店客を観光地や中心市街地へと誘導
- ・交流人口の増加による地域経済の活性化

### ②雇用の創出

- ・約2,000名の雇用を創出

### ③税収の増加

- ・固定資産税などの市税収入の増加
- ・今後、納付される固定資産税収入の一部を中心市街地活性化のための資金として活用を検討